平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL　http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,963	△1.7	△46	―	△61	―	△43	―
23年3月期第2四半期	3,015	△0.6	△19	―	△34	―	△30	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.06	―
23年3月期第2四半期	△2.15	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,264	13,492	88.4
23年3月期	15,589	13,645	87.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　13,492百万円　23年3月期　13,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
24年3月期	―	7.50			
24年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,830	0.8	260	8.2	230	11.7	135	32.2	9.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,400,000 株	23年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	159,941 株	23年3月期	159,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	14,240,400 株	23年3月期2Q	14,241,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における国内経済は、東日本大震災を起因として企業活動や国民生活に多大な影響がもたらされることとなりましたが、企業の生産活動や個人消費に持ち直しの兆しが見られるようになりました。一方、欧州の金融不安の拡がりや米国経済の減速懸念を背景に円高基調が続き、デフレの長期化など先行きの不透明感は強いものとなりました。

このような状況の下、建設関連業界におきましては新設住宅着工に若干の改善傾向が見られるなど、やや改善の動きが出てまいりましたが、建設市場全体としては依然として低水準で推移し、厳しい状況が続きました。その結果、売上高は29億63百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は建築着工がやや持ち直したこともあり排水関連製品が増加し、一部外構関連製品も堅調でありましたが、設備、景観工事関連製品が低下したことから、9億57百万円(同1.9%減)となりました。スチール機材は福祉関連製品が低下し、土木工事、設備投資が低調であったことから関連製品が減少し、6億4百万円(同3.6%減)となりました。製作金物は防災関連製品が増加しましたが、建築金物の低下から、10億92百万円(同5.8%減)となりました。その他は海外需要が引き続き堅調な建機、機械向け製品が増加したことと、公共土木需要向けも改善し、3億8百万円(同22.3%増)となりました。

利益につきましては、価格競争など激化する販売市場において、高値にある材料などコスト環境は厳しい状況が続きました。原価低減に向け努めてまいりましたが、売上総利益は8億68百万円(同4.5%減)となりました。また販売費及び一般管理費につきましても諸経費の削減に努め改善いたしましたが営業損失は46百万円(前年同四半期は19百万円の営業損失)となりました。営業外収支につきましては金利が低下しており受取利息等が減少しました。その結果、経常損失は61百万円(前年同四半期は34百万円の経常損失)となり、四半期純損失は43百万円(前年同四半期は30百万円の四半期純損失)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ3億25百万円減少し152億64百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ7億50百万円増加し84億6百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が売上高の減少により2億38百万円、有価証券が国債の償還により6億円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が１年以内満期の定期預金の増加等により14億47百万円、たな卸資産が仕入高の増加等により1億30百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ10億75百万円減少し68億58百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が減価償却等により75百万円、１年超満期の長期預金が10億円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億72百万円減少し17億72百万円となりました。その主な要因は、買掛金が1億9百万円、未払法人税等が78百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億52百万円減少し134億92百万円となりました。その主な要因は、前事業年度の配当金の支払いが1億6百万円、当第２四半期純損失を43百万円計上したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、復興に向けた動きとともに、民間設備投資や景気改善に向けた動きも伺われるようになりました。しかしながら世界経済の変調が浮上するなど不安感も大きくなっております。このような状況の中で建設関連も厳しい需要環境が続いておりますが市場のニーズをつかみ受注に向け営業努力をしてまいります。また原価低減を進めるとともに、より一層の顧客満足に努め、よりよい製品開発と品質向上を図り、業績改善に注力してまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想に関しましては、平成23年11月４日に公表しましたとおり修正を行い、売上高68億30百万円(前期比0.8%増)、営業利益2億60百万円(同8.2%増)、経常利益2億30百万円(同11.7%増)、当期純利益1億35百万円(同32.2%増)となる見込であります。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,897,051	5,344,581
受取手形及び売掛金	1,453,506	1,214,734
有価証券	1,200,446	600,084
製品	552,931	624,475
仕掛品	86,497	101,043
原材料及び貯蔵品	381,185	425,440
その他	85,177	96,677
貸倒引当金	△1,019	△853
流動資産合計	7,655,778	8,406,184
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,735,723	1,735,723
その他（純額）	1,447,091	1,371,157
有形固定資産合計	3,182,814	3,106,880
無形固定資産	5,461	4,266
投資その他の資産		
投資有価証券	59,978	57,353
長期預金	4,200,000	3,200,000
その他	497,733	501,986
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	4,745,711	3,747,340
固定資産合計	7,933,987	6,858,486
資産合計	15,589,766	15,264,671
負債の部		
流動負債		
買掛金	359,560	249,919
未払法人税等	87,201	8,319
賞与引当金	50,096	53,847
その他	168,888	158,732
流動負債合計	665,747	470,818
固定負債		
退職給付引当金	293,345	296,511
役員退職慰労引当金	376,328	384,725
長期預り保証金	609,325	620,190
固定負債合計	1,278,999	1,301,427
負債合計	1,944,746	1,772,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,563,526	10,413,177
自己株式	△68,532	△68,685
株主資本合計	13,634,993	13,484,491
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,025	7,933
評価・換算差額等合計	10,025	7,933
純資産合計	13,645,019	13,492,425
負債純資産合計	15,589,766	15,264,671

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	3,015,752	2,963,533
売上原価	2,105,821	2,094,762
売上総利益	909,930	868,771
販売費及び一般管理費		
給料	302,498	288,844
賞与引当金繰入額	35,072	33,104
役員退職慰労引当金繰入額	7,425	8,397
貸倒引当金繰入額	－	△166
退職給付費用	6,930	7,711
運賃及び荷造費	198,251	195,977
その他	379,652	381,453
販売費及び一般管理費合計	929,829	915,322
営業損失（△）	△19,899	△46,551
営業外収益		
受取利息	13,763	10,854
受取配当金	1,157	1,072
不動産賃貸料	6,463	9,482
その他	6,435	6,881
営業外収益合計	27,819	28,291
営業外費用		
支払利息	8,765	9,062
売上割引	31,562	30,146
その他	2,453	3,830
営業外費用合計	42,782	43,039
経常損失（△）	△34,861	△61,299
特別利益		
固定資産売却益	－	56
貸倒引当金戻入額	1,413	－
特別利益合計	1,413	56
特別損失		
固定資産除却損	7,609	216
固定資産売却損	54	－
特別損失合計	7,664	216
税引前四半期純損失（△）	△41,112	△61,459
法人税、住民税及び事業税	3,369	3,411
法人税等調整額	△13,805	△21,326
法人税等合計	△10,436	△17,915
四半期純損失（△）	△30,676	△43,544

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成 23 年 11 月 11 日

平成 24 年３月期　第２四半期決算発表　参考資料

カネソウ株式会社

１．業　　績（累計）

科　　目	金　　額	前 年 同 四 半 期 比
売　　上　　高	29 億 63 百万円	1.7 % 減
営　　業　　利　　益	△46 百万円	―
経　　常　　利　　益	△61 百万円	―
四　半　期　純　利　益	△43 百万円	―
１株当たり四半期純利益	△3 円 06 銭	（前年同期　△2 円 15 銭）

製品分類別売上高の状況

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同四半期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	957	32.3	△1.9
ス　チ　ー　ル　機　材	604	20.4	△3.6
製　　作　　金　　物	1,092	36.9	△5.8
そ　　の　　他	308	10.4	22.3
合　　計	2,963	100.0	△1.7

２．配　　当

中間配当は、１株当たり 7 円 50 銭を実施する予定であります。（前年同四半期　7 円 50 銭）

３．財政状態

総資産　152 億 64 百万円、純資産　134 億 92 百万円、自己資本比率 88.4%、
１株当たり純資産額 947 円 50 銭であります。（株式数　14,240 千株）

４．通期（平成 24 年３月期）の業績予想

区　　分	第２四半期実績(累計)		通　期　予　想	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前期比（%）
売　　上　　高	2,963	△1.7	6,830	0.8
営　　業　　利　　益	△46	―	260	8.2
経　　常　　利　　益	△61	―	230	11.7
第２四半期（当期）純利益	△43	―	135	32.2

製品分類別売上高の計画（通期）

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	2,200	32.2	△0.1
ス　チ　ー　ル　機　材	1,360	19.9	△3.2
製　　作　　金　　物	2,650	38.8	0.8
そ　　の　　他	620	9.1	14.6
合　　計	6,830	100.0	0.8

５．設備投資及び減価償却費（有形固定資産）

	第２四半期実績	通　期　計　画
設　備　投　資　額	42 百万円 金型等の取得等	1 億 82 百万円 省力化設備、電気設備導入他
減　価　償　却　費	1 億 17 百万円	2 億 45 百万円

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。